



航空事故分析集

～ 空を安全に楽しむために ～ 超軽量動力機等の安全な飛行

第1章	はじめに	1
第2章	事故と被害の発生状況	2
第3章	空を安全に楽しむための留意事項 ～事故に関与したと考えられる要因の分析～	6
第4章	事故事例の紹介	10
第5章	まとめ	14

第1章 はじめに

スカイレジャー（スポーツ）として普及している超軽量動力機（裏表紙写真参照）は、ハンググライダーにエンジンを載せたのが始まりと言われ、一人または二人乗りで、操縦者が着座姿勢で飛行できる、着陸（水）装置と動力装置を装備した簡易な構造の航空機で、これにジャイロプレーンや自作航空機を加えて「超軽量動力機等」と呼ばれています。空を身近に楽しむことができますが、残念ながら、毎年1～5件の死傷者を伴う事故が発生しています。

最近5年間の航空事故71件のうち、超軽量動力機等の事故は17件（24%）発生しており、小型飛行機（15件、21%）やヘリコプター（16件、23%）とほぼ同じ事故件数になっています（図1参照）。

この運輸安全委員会ダイジェストでは、2001年（平成13年）から2021年（令和3年）までの間に、当委員会の航空事故調査の対象となり、調査報告書が公表されている超軽量動力機等の事故54件の分析を通して、安全に空を楽しむために大切なことを探っていきます。

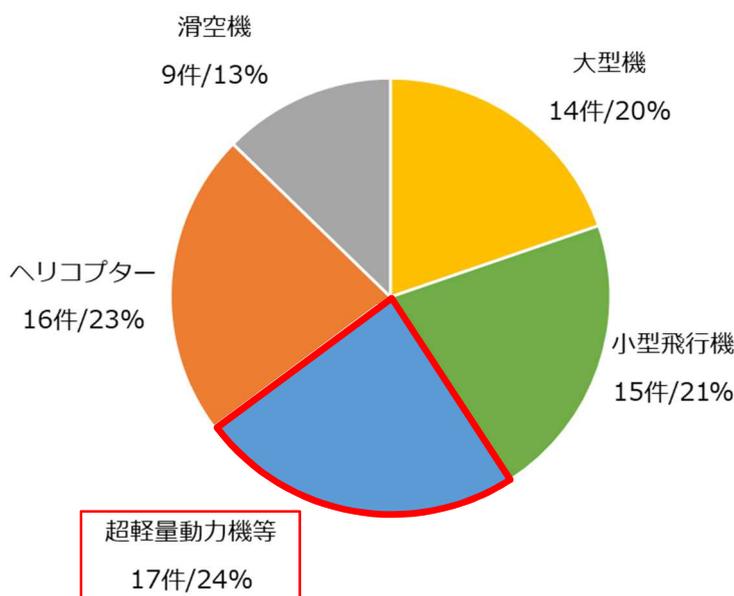


図1 機種別の航空事故件数(2017～2021年)